### がん専門医育成推進講座

### 1. 領域構成教職員 • 在職期間

教授	谷澤 昭彦	平成27年4月1日~
客員教授	玉村 裕保	平成28年4月1日~

### 2. 研究概要

研究概要 病理専門医、放射線治療専門医、がん薬物療法専門医を育成・確保するための研修体制、研修プログラム及び派遣体制についての研究を行う。システム構築によって、がん専門医を目指す医師が短期間で効率的に専門医資格を取得し、県内の拠点病院を中心に活躍して福井県のがん診療に貢献できることを目標にしている。さらに専門医資格取得後も継続してがん診療の研鎖が可能なシステムの構築についても研究を行う。

がん診療、研修医、専門医資格、地域医療

本学の理念との関係 本学の理念に沿って、がん診療における高度な医学知識を修得するとともに、患者および医療チームのなかで信頼し得る医療人を育成する。同時に福井県でのがん地 域医療の向上に寄与することを目的としている。

### 3 研究宝績

2	区分	編数	インパクトファクター(うち原著のみ)
		2017年分	2017年分
和文原著論文		1	_
	ファーストオーサー	0	0 (0)
英文論文	コレスポンテ゛ィンク゛オーサー	0	0 (0)
×,,,,,	その他 合計	4	8. 4 (8. 4)
	合計	4	8. 4 (8. 4)

## A) 著書·論文等 (1) 英文:著書等

- b. 著書 (分担執筆)
- c. 編集·編集·監修

# (2) 英文: 論文等 a. 原著論文 (審查有) 17104001 H. Shi

H.Shimada, A.Kada, H.Shima, C.Tono, Y.Yuza, H.Kurosawa, A.Watanabe, M.Ito, H.Urvu, K.Kamibeppu, N.Kivokawa, S.Adachi, A. M. Saito, A. Tanizawa: Rationale and design of a prospective, multicentre, stop tyrosine kinase inhibitor trial of paediatric patients with chronic myeloid leukaemia with sustained complete molecular response (STKI-14), Hiroshima J. Med. Sci., 67(1), 7-

17104002

patients with Giroffic myerord reundemia with sustained sompless molecular to the patients of the patients of

17104003

K.Sakamoto, T.Imamura, T.Kanayama, M.Yano, D.Asai, T.Deguchi, Y.Hashii, A.Tanizawa, Y.Ohshima, N.Kiyokawa, K.Horibe, A.Sato: Ph-like acute lymphoblastic leukemia with a novel PAX5-KIDINS220 fusion transcript., Genes, chromosomes & cancer, 56(4), 278-284, 201704, DOI: 10.1002/gcc.22433, #3.96

17104004

H. Hori, T. Kudoh, S. Nishimura, M. Oda, M. Yoshida, J. Hara, A. Tawa, I. Usami, A. Tanizawa, K. Yumura-Yagi, K. Kato, R. Kobayashi, Y. Komada, K. Matsuo, K. Horibe: Acute and late toxicities of pirarubicin in the treatment of childhood acute lymphoblastic leukemia: results from a clinical trial by the Japan Association of Childhood Leukemia Study., International journal of clinical oncology, 22(2), 387-396, 201704, DOI: 10.1007/s10147-016-1062-1, #1.806

- b. 原著論文 (審査無)
- c. 原著論文(総説)
- d. その他研究等実績(報告書を含む)
- 国際会議論文 e.
- (3) 和文: 著書等
- b. 著書 (分担執筆)
- 編集・編集・監修
- (4) 和文:論文等 a. 原著論文(審査有)

17104005 - 通過 一寿, 鈴木 孝二, 谷澤 昭彦, 巨田 元礼, 吉川 利英, 小練 研司, 村上 真, 今村 好章, 大嶋 勇成: 白血病治療中のムーコ ル虫垂炎および肝膿瘍に対する外科治療の役割, 小児科臨床, 70(10), 1501-1507, 201710

- b. 原著論文 (審査無)
- d. その他研究等実績(報告書を含む)
- e 国際会議論文
- (B) 学会発表等 (1) 国際学会 a. 招待·特別講演等
  - b. シンポジスト・パネリスト等
  - c. 一般講演 (口油)
  - d. 一般講演 (ポスター)
  - e. 一般讚演
  - f. その他

## (2) 国内学会 (全国レベル) a. 招待・特別講演等

### b. シンポジスト・パネリスト等

で 嶋田 博之、谷澤 昭彦、村松 秀城、石田 也寸志、安井 昌博、東條 有伸、長村 登紀子、衛藤 徹也、五十嵐、愛子、金森 平和、 佐藤 真穂、稲垣 二郎、一戸 辰夫、井上 雅美、加藤 剛二、熱田 由子、大橋 一輝:小児・AYA世代の慢性骨髄性白血病(CML)に対す る骨髄非破壊的移植(RIST)の成績、第40回日本造血細胞移植学会総会、札幌市、20180203、第40回日本造血細胞移植学会総会、243、20171211 17104006

A.Tanizawa, H.Kurosawa, A.Watanabe, M.Ito, C.Tono, H.Shima, Y.Yuza, K.Hamamoto, N.Hotta, H.Muramatsu, M.Okada, H.Shimada: 小児慢性期慢性骨髄性白血病に対する多施設共同観察研究 (CML-08) :平成29年度予備解析:変異解析について, 第59回日本小児血液・がん学会学術集会, 松山市, 20171109, 日本小児血液・がん学会雑誌, 54(4), 231, 201710 17104007

- Y. Yuza, H. Shimada, H. Kurosawa, A. Watanabe, M. Ito, C. Tono, H. Shima, K. Hamamoto, H. Muramatsu, N. Hotta, M. Okada, A. Tanizawa: 小児慢性期慢性骨髄性白血病(CML)に対する多施設共同観察研究(CML-08): 平成29年度急性有害事象に関する報告,第59回日本小児血液・がん学会学術集会,松山市,20171109,日本小児血液・がん学会雑誌,54(4),231,201710 17104008

H. Shimada, H. Kurosawa, A. Watanabe, M. Ito, C. Tono, H. Shima, Y. Yuza, K. Hamamoto, H. Muramatsu, N. Hotta, M. Okada, A. Tanizawa: 小児慢性期慢性骨髄性白血病 (CML) に対する多施設共同観察研究CML-08:平成29年度予備解析 , 第59回日本小児血液・がん学会学術集会, 松山 17104009 市, 20171109, 日本小児血液・がん学会雑誌, 54(4), 231, 201710

H. Shima, A. Tanizawa, H. Kurosawa, A. Watanabe, M. Ito, C. Tono, Y. Yuza, K. Hamamoto, H. Muramatsu, N. Hotta, M. Okada, H. Shimada: イマチニブ抵抗性または不耐容の小児慢性期例Lに対する第2世代TKIの治療反応性(JPLSG CML-08研究),第59回日本小児血液・がん学会学術集会、松山市、20171109,日本小児血液・がん学会雑誌、54(4),232,201710

広瀬 知美、浅野 みどり、谷澤 昭彦、鈴木 孝二:幼少期に発症したAYA世代の小児がん経験者と母親の病気と健康に対する認識 未告知だった2事例に着目した分析、第15回日本小児がん看護学会学術集会、松山市、20171111,日本小児血液・がん学会雑誌、54(4),435,201710 17104010

17104011

H.Itonaga, Y.Miyazaki, K.Imai, Y.Hasegawa, T.Ikeda, H.Taji, I.Amano, T.Ichinohe, T.Fukuda, Y.Atsuta, A.Tanizawa, T.Kondo: 慢性 好中球性白血病と非定型慢性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植,第79回日本血液学会学術集会,東京,20171022,臨床血液,58(9), 17104012 466 20170930

H. Shima, A. Tanizawa, H. Kurosawa, A. Watanabe, M. Ito, C. Tono, Y. Yuza, H. Muramatsu, N. Hotta, M. Okada, H. Goto, K. Koh, C. Imai, H. Shimada: 長期TKI治療下の小児慢性期CML患者の性腺機能(JPLSG CML-08研究),第79回日本血液学会学術集会 ,東京,20171022,臨床血液,58(9),480,20170930 17104013

17104014

吉川 利英、谷澤 昭彦、池田 和美、渡邉 一寿、林 泰平、湯浅 光織、巨田 元礼、鈴木 孝二、今村 好章、村上 真、五井 孝憲、 大嶋 勇成:急性虫垂炎を発症した造血器腫瘍の3例;画像検査の役割、第59回日本小児血液・がん学会学術集会、松山市、20171110、日本小 17104015 児血液・がん学会雑誌, 54(4), 376, 201710

野村 詠史. 鈴木 孝二, 山田 健太, 清水 達人 , 池田 和美. 吉川 利英, 酒井 康弘, 今村 好章, 谷澤 昭彦, 大嶋 勇成: 肝原発 血管系悪性腫瘍に対してパクリタキセルが有効であった乳児例, 第120回日本小児科学会学術集会, 東京, 20170415, 日本小児科学会雑誌, 121(2), 422, 201702 17104016

### e. 一般講演

f. その他

## (3) **国内学会**(地方レベル) a. 招待・特別講演等

谷澤 昭彦: CML治療の現状, 小児血液・がんセミナー in 中部, 20180227 17104017

### b. シンポジスト・パネリスト等

### 一般護濟 (口油)

アイス 光次、巨田 元礼、吉川 利英、鈴木 孝二、大嶋 勇成、谷澤 昭彦、今村 好章、酒井 康弘、谷内江 昭宏、竹内 元浩: EBNA 陽性の血球貪食症候群より慢性活動性EBウイルス感染症(CAEBV)が疑われた5歳男児例、第322回日本小児科学会北陸地方会、富山市、20180311 17104018

中林 結子, 巨田 元礼, 吉川 利英, 津田 雅世, 鈴木 孝二, 大嶋 勇成, 谷澤 昭彦: 年少児に発症したEpstein-Barr virus伝染性単 核球症の経験, 第16回日本小児科学会福井地方会, 福井市, 20171104 17104019

吉川 利英、鈴木 孝二、伊藤 尚弘、前田 夢吉、大嶋 勇成、谷澤 昭彦、赤澤 愛弓、北井 隆平、法木 左近、今村 好章、小林 英理子、岩井 和之:後頭蓋に発生したmelanotic neuroectodermal tumor of infancy に対する治療経験、第53回中部日本小児科学会、金沢市、20170820 宮永 光次、小坂 拓也、湯浅 光織、吉川 利英、巨田 元礼、鈴木 孝二、大嶋 勇成、谷澤 昭彦、大越 忠和、内木 宏延、中嶋秀明、池田 和美:オプソクローヌス・ミオクローヌス症候群を合併した切除不能低リスク神経芽腫の経験、第320回日本小児科学会北陸地方会、永平寺町、20170604 17104020

17104021

### d. 一般講演 (ポスター)

- e. 一般護演
- f. その他

## (4) その他の研究会・集 a. 招待・特別講演等

### b. シンポジスト・パネリスト等

### 一般講演(口演)

金 鈴木 孝二, 小坂 拓也, 宮永 光次, 吉川 利英, 谷澤 昭彦, 大嶋 勇成: 当科におけるX連鎖血小板減少症に対する非血縁者間同種骨髄 移植の経験, 第7回北陸免疫不全症セミナー, 金沢市, 20180302 17104022

鈴木 孝二, 小坂 拓也, 吉川 利英, 大嶋 勇成, 出淵 雄哉, 松峯 昭彦, 酒井 康弘, 今村 好章, 谷澤 昭彦: 臼蓋に発生した非ラ ンゲルハンス細胞組織球症〜診断および治療方針について〜, 第46回北陸小児癌講演会, 金沢市, 20170917 17104023

### d. 一般謙演 (ポスター)

- e 一級護演
- f. その他

### (C) 特許等 区分

内容(発明の名称) 発明者又は考案者

### (D) その他業績

4. グラント取得 (A) 科研費・研究助成金等

工工工工中的 建 工中主	区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	期間(年度)	金額(配分額)
	口个达涨研究用完惯悟	革新的がん医療実用化 研究事業	小児肯髄糸腫湯に対す			2017	260000

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	期間(年度)	金額(配分額)

(B)	奨学寄附金	
	受入件数	1
	受入金額	19474844

# 5. その他の研究関連活動 (A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
国内学会(地方レベル)	主催者	第17回中部小児がんトー	20170930-20170930	福井

(B) 学会の実績

(リ) 子女の天機		
学会の名称	役職	氏名
日本感染症学会	一般会員	谷澤 昭彦
日本臨床腫瘍学会	一般会員	谷澤 昭彦
日本造血細胞移植学会	一般会員	谷澤 昭彦
日本小児血液・がん学	一般会員	谷澤 昭彦
会		

(0) 座長

(し)座長		
国内学会	学会名	氏名
招待・特別講演等	第3回北陸小児血液研 究会	谷澤 昭彦
招待・特別講演等	第47回北陸小児癌講演 会	谷澤 昭彦
招待・特別講演等	治療の会	谷澤 昭彦
一般講演(口演)	第59回日本小児血液・ がん学会学術集会	谷澤 昭彦

(D) 学術雑誌等の編集

(ロ) 士剛和助寺のま	<b>三</b> 未		
学術雑誌等の名称	委員長 (主査)	・委員	氏名

(E) その他